

**DMP とマクニカ、低速モビリティ向け自動・自律運転及び
安全運転支援ソリューション構築のため協業**

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル(本社：東京都中野区、代表取締役社長 大澤 剛、以下DMP)と株式会社マクニカ(本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 原 一将、以下マクニカ)は、今後、低速モビリティ向けの自動・自律運転や 安全運転支援分野において、両社が保有する技術力、営業力、ノウハウを掛け合わせることでソリューションを構築し、少子高齢化や人口減といった日本の社会課題の解決に向けて協業を行ってまいります。

協業の背景

少子高齢化による様々な問題は、高齢者の移動や搬送・作業者の不足等を代表とした大きな社会課題であり、日々我々の実社会で確実に広がりつつあります。同時に、5G(第5世代移動通信システム)の普及やモビリティ革命が社会・産業構造にパラダイムシフトをもたらしています。CASE^{*1}やMaaS^{*2}の取り組みは自動車産業だけでなく、公共交通サービス、シェアリングビジネス、配車サービスを巻き込み、近未来のまちづくりにも影響を与えています。また、建設業、農業など様々な分野においても省人化および自動化を伴うDX^{*3}化が急速に進められています。そうした中、UGV^{*4}、AGV^{*5}、AMR^{*6}に代表されるAIとロボティクス技術を組み合わせた自動化・自律化への期待と需要が急激に高まっています。

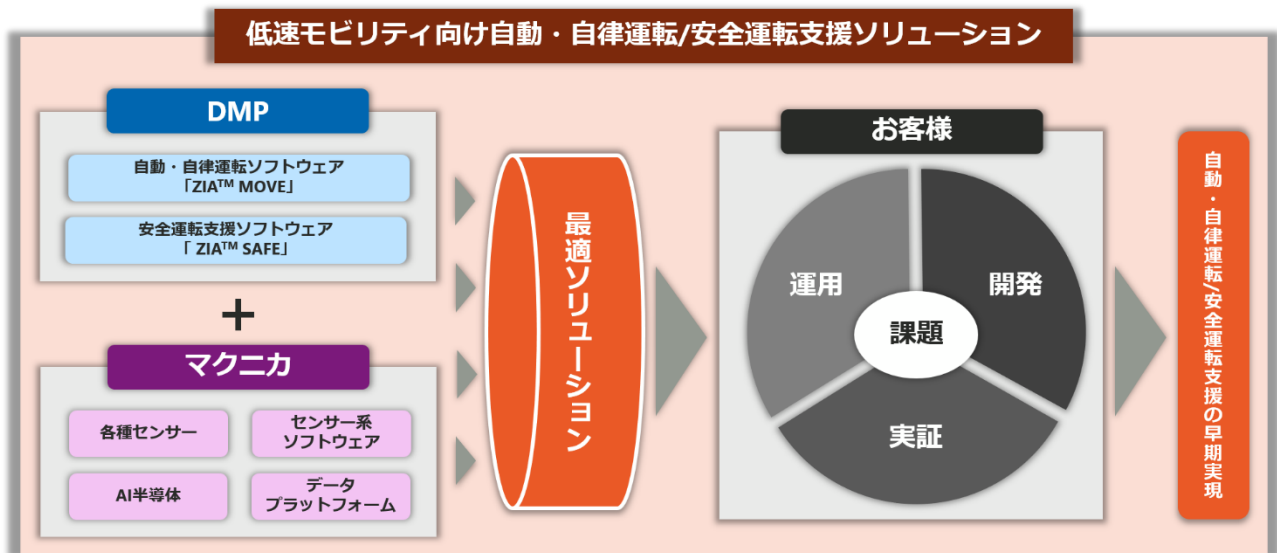
こうした社会・産業構造変化に対応すべく、両社は、DMPが保有するAIを活用した自律運転技術及び安全運転支援技術と、マクニカが保有するセンサー、AI半導体並びにデータ収集集めた実証実験のノウハウや運営力、営業力を組み合わせ、特に低速度領域における自動・自律運転のハードウェア・ソフトウェアのプラットフォームの構築・提供を目指します。

協業の概要

自動・自律運転や先進安全運転支援の開発には、それぞれの用途、例えば掃除ロボット、各種搬送車、セニアカー、建設用機器、農機等、走行する目的、場所、ルートや環境等に応じた自動・自律走行や安全運転支援機能の開発が必要となります。また、自動・自律運転や先進安全運転支援のシステム構築には、各種センサー、高性能なAI半導体及びAIソフトウェアを組み合わせることが必要です。

そこで、両社は、マクニカが提供する高性能AI半導体、ステレオカメラやLiDAR^{*7}センサー等の各種センサーとデータプラットフォーム、DMPが開発・提供する自動・自律運转向けソフトウェア「ZIATM MOVE」や安全運転支援ソフトウェア「ZIATM SAFE」を組み合わせることで、垂直統合型の開発プラットフォーム環境を実現します。それにより、様々な用途、目的に応じた自動・自律運転や先進安全運転支援における開発プロジェクトの開発工数を低減し、促進・支援する最適なソリューションを提供します。

今後両社では、屋内外で低速に走行する車両分野として、倉庫内搬送、農機、建設・ゼネコン、セニアカー等に幅広く提供していきます。



低速モビリティ向け自動・自律運転/安全運転支援ソリューションの概要

※1 CASE

Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動運転)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)の頭文字を組み合わせた造語で、自動車業界の昨今の潮流を表す。

※2 MaaS

Mobility as a Serviceの略。自動運転やAI、オープンデータ等をかけあわせ、従来型の交通・移動手段にシェアリングサービスを統合した次世代の交通のこと。

※3 DX

Digital Transformationの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること（2018年12月 経済産業省「デジタルトランスフォーメーションを推進するためのガイドライン（DX推進ガイドライン）」による定義）。

※4 UGV

Unmanned Ground Vehicleの略。無人で地上（主に屋外）を走行できる車両の総称。

※5 AGV

Autonomous Guided Vehicleの略。無人、自動で走行できる搬送車で、主に製造工場や自動倉庫などで使用される。自律走行方式によって、経路に沿って設置した誘導体（磁気テープ、光反射テープ、電磁誘導ケーブル等）によって誘導する経路誘導式 (path guide)、先行する特定の人や車両などに追従する追従式 (target guided)、及び軌道、誘導体、人の操縦などがなくても目的地へ移動する自律移動式 (self-navigation) に分類される。

※6 AMR

Autonomous Mobile Robotの略。磁気テープなどの誘導体を必要とせず（ガイドレス）で、搭載されたセンサーなどの情報から自己位置の推定を行う自律走行搬送ロボット。

※7 LiDAR

Light Detection and Rangingの略。レーザー光を用いたセンサーの一種で、対象物までの距離や位置、形状を正確に検知できる。

※本文中に記載の社名及び製品名は、株式会社デジタルメディアプロフェッショナルおよび株式会社マクニカの商標または登録商標です。

※ニュースリリースに掲載されている情報（製品価格、仕様等を含む）は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご承知ください。

<本製品に関するお問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル セールス&マーケティング部 梅田宗敬

TEL : 03-6454-0450

MAIL : info_06@dmprof.com

株式会社マクニカ スマートモビリティ事業部

MAIL : auto-solution@macnica.co.jp

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル について

DMPは、独自開発した組込機器向け2D/3Dグラフィックス技術のハードウェアIPやソフトウェアIPのライセンス、ならびにこれらのIPを搭載したグラフィックスLSI事業を展開する研究開発型のファブレス半導体ベンダーです。近年はAI分野において世界をリードする「AI Computing Company」となるべく、AIプロセッサIP、ハード/ソフト製品、サービスを含む幅広いポートフォリオと独自に構築したAIエコシステムを通じたソリューションの提供を行っております。

株式会社マクニカ について

マクニカは、1972年の設立以来、最先端の半導体、電子デバイス、ネットワーク、サイバーセキュリティ商品に技術的付加価値を加えて提供してきました。近年は、従来からの強みであるグローバルにおける最先端テクノロジーのソーシング力と技術企画力をベースに、AI/IoT、自動運転、ロボットなどの分野で新たなビジネスを展開しています。今後は、「Co.Tomorrowing」をスローガンに、最先端のテクノロジーとマクニカが持つインテリジェンスをつなぎ、ユニークなサービス/ソリューションを提供する存在として、社会的価値を生み出し未来社会の発展へ貢献していきます。当社は、横浜に本社を構え、世界23ヶ国85拠点をベースにグローバルなビジネスを展開しています。

詳細はWebサイト (<https://www.macnica.co.jp>) をご覧ください。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル <https://www.dmprof.com>

セールス&マーケティング部 梅田宗敬

〒164-0001 東京都中野区中野四丁目 10 番 2 号 中野セントラルパークサウス 16 階

株式会社マクニカ <https://www.macnica.co.jp>

コーポレートマーケティング統括部 広報室 宮原 e-mail : macpr@macnica.co.jp

〒222-8561 横浜市港北区新横浜 1-6-3 マクニカ第1ビル